

ふくいじょうあと
12. 福井城跡 (民間開発 宝永2丁目)

所在地：福井市宝永2丁目

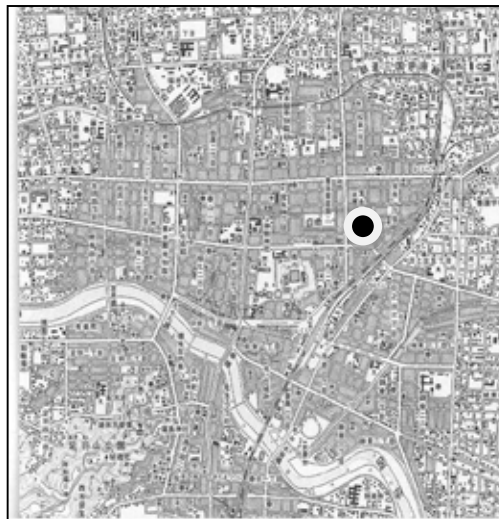
調査原因：民間開発

調査期間：平成27年6月29日～7月17日

調査主体：福井市文化財保護センター

調査面積：235㎡

時代：江戸



位置図 (S=1/50,000)

調査の概要 現存する“福井城下絵図”を参照すると、江戸時代をとおして一区画の武家敷地内にあたり、屋敷境の変更等は特に認められない場所にあたります。隣接する東側・南側道路は、当時の道路とほぼ重なることから、福井城期の武家屋敷の区割りが比較的良好に残っていると想定できます。

遺構 調査では、地表より50cm下で良好に江戸時代の遺構を検出しました。検出した遺構には、溝、柱穴、ゴミ穴があります。

溝 調査地北側で東西に延び、幅2.8mの規模を測ります。検出した遺構の中で一番古く、築城当初のものと考えられます。当時は溝を境に北と南で土地に段差がありましたが、後に埋め立てて整地していました。

出土遺物や埋め立て土に焼土が混入していることから大火後の17世紀後半には整地されたと考えられます。

柱穴 一辺50cmのものは列で並び、柱根が残っていました。

まとめ 今回の調査では17世紀後半におきた大火を契機としての屋敷内を整地していることがわかりました。
(三澤繁忠)



写真1 調査地全景



写真2 柱穴が一行に並ぶ (東から)